



NEWS LETTER

—ウォーター・セキュリティ研究会—

発行：研究会事務局

第4号

2010年1月18日

1. 「水事業のあり方を考えるセミナー」参加報告

2009年11月26日（木）に「21世紀の水事業の国際貢献のあり方を考えるセミナー・第2回」（主催：NPO法人日本水フォーラム・国連人間居住計画）が東京で開かれました。事務局から濱崎（立命館大学政策科学研究科・博士課程後期課程）が参加して参りましたので、その概要をご報告致します。

本セミナーはまず、海外進出が後れている日本の水関連企業に対して、どのような国際貢献が可能であるかについての基調講演が、国連人間居住計画および国際NGOの方からあった。両者とも、水分野における水事業体のパートナーシップを促進させる活動を行っており、日本の水関連企業にも期待を寄せている一方で、それらの活動は非営利で行われなければならないと強調していた。ここに、民間企業との大きなギャップがあると感じた。その後、主に日本の地方自治体が行っている国際貢献について報告があった。各自治体が、それぞれの特色を活かした事業を行っている点が興味深かったものの、受け入れた研修生の追跡調査が不十分で、日本の水関連企業での採用など、目に見える形での成果につなげられていない、などの課題が浮き彫りになった。

なお、本セミナーの詳しいプログラムにつきましては、日本水フォーラムのウェブサイト (http://www.waterforum.jp/jpn/symposium/091126_WOPs/) をご参照下さい。

2. 国際シンポジウムのお知らせ

2010年1月28日に、「気候変動による水資源分野の適応策と国際連携」というテーマで、国際シンポジウムを開催します。日中の専門家による個別報告とパネルディスカッションが行われ、水資源分野における気候変動への適応策について議論を交わし、知見を深めます。シンポジウムの概要は以下の通りですので、奮ってご参加下さい。

◆日時：2010年1月28日（木） 9:20～12:00

◆場所：立命館大学朱雀キャンパス 1階 多目的室

◆プログラム

1. 基調講演

張坤民（清華大学教授）「気候変動による水資源分野の適応策と国際連携」

2. 個別報告

何青（中国上海華東師範大学河口海岸国家重点実験室副主任教授）

陳英旭（中国浙江大学教授）

福士謙介（東京大学サステイナビリティ学連携研究機構准教授）

中島淳（立命館大学理工学部教授）

3. パネルディスカッション

テーマ「気候変動による水資源環境分野の適応策と日中間連携の可能性」

パネリスト

何青（中国上海華東師範大学河口海岸国家重点実験室副主任教授）

陳英旭（中国浙江大学教授）

原圭史郎（大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構特認講師）

福士謙介（東京大学サステイナビリティ学連携研究機構准教授）

中島淳（立命館大学理工学部教授）

コーディネーター：仲上健一（立命館大学政策科学部教授）